

# 繁藤月報

〒789-0583

高知県香美市土佐山田町平山1748

天理教繁藤大教会

TEL 0887-57-9207 / FAX 0887-57-9246

いよいよ記念祭・奉告祭を迎える五月に入り、受け入れの準備等で忙しくなつてまいりました。そんな中このたび、神殿横のトイレの改装が完了しました。神殿から続きで室内のままトイレにいけるようになっただけでなく、大便器はすべてウォッシュレット付きで、オストメイトやベビーシートも備わったユニバーサルデザイントイレもあり、素晴らしい仕上がりにとっても嬉しい気持ちになります。

ところでお道では、用を足したとき、手を合わせて感謝するという方がおられます。「くもよみのみこと」の飲み食い入りのご守護に感謝するというものです。また、十全の守護の説き分け以外でも、人間の身体には九つの道具があるといます。目・耳・鼻・口・右手・左手・右足・左足、そして男一の道具もしくは女一の道具です。これは、おつとめにおける九つの鳴物の理と対応しているとも聞かれます。そこまでは聞いたことがある方が多いと思いますが、実は十番目の大きな役割があるというのをご存知でしょうか？教祖ご在當時の先生方の話をまとめた「みかぐらうた語り草（榊井孝

四郎著）」にはこう書かれています。

実はいま一つ食べたものを下に通じる大きな役をしているおいど（お尻）があります。（中略）おいどは一つの大役をしているながら、人にも見えない大きな働きをしている。陰にあって本当に縁の下の力持ちのご用をしていてくれるのである。人間はわが身十分であってはいらないのである。どこまでも丸であつて、たんのうをして通らせてもらわねばならぬことをお教えくだされているのである。

この本では、借り物の身体が健康であることに感謝することはもちろん大切ですが、それだけに留まってはならないとあります。身上が十分に通らせていただけるのであれば、わが身は人一步ゆずつて「丸」で通らせていただき、人に満足を与え喜ばすたんのうをしてもらうように通りなさい、ということですが。しかもおいどと同じく、縁の下の力持ちのように人の見えない陰で働かせてもらうことが大切であり、丸で通るところに世界は円満に丸く治まると書かれてあります。

この繁藤における旬にあたり、これまでも様々な方々からの御供やひのきしんをいただいております。たくさんの方に見えない陰の真実によって、繁藤という教会があるということに深く感じさせていただきます。記念祭・奉告祭という大きな節目に、親神様、教祖、百三十年の道をつけてくださった霊様に喜んでいただけるよう、また参拝にお越し下さった皆様にたんのうをしていただけるよう、精一杯に陰で働かせていただきたいと思います。最後までお力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。

当日にお参拝いただける方は、所属教会を通じて事前の申し込みをお願いします。また、どうしても来れない方のためにネットでのライブ配信を予定しますので、公式LINEの登録をお願いいたします。それでは皆様、五月二十日をぜひ楽しみにしててください。

立教百八十五年五月一日

天理教繁藤大教会長

坂本輝男

【主教百八十五年四月月次祭 祭文】

この神座にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に、天理教繁藤大教会長坂本輝男慎んで申し上げます。

親神様は、陽気くらしを見て共に楽しみたいとの思召から、この世、人間をお作り下され、旬刻限の到来と共に、教祖をやしんとしてこの世の表にお現れになり、これの最後の御教えをお啓き下さり、成人の道を恙なくお連れ通り下さいます御慈愛の程は、誠に有り難く勿体ない極みでございます。現在、世界には人々を不安に陥れている様々な事情をお見せいただいております。おふでさきに、

しんぢにをもてこふとをももうなら 心しづめてしんをたつねよ

とお示しく下さるよう、今一度、信仰の芯である親神様の御教えに心を向け直し、これまでの反省の上に今後の歩み方を思索し、ちわたふしを生かすことができるよう、また家庭・地域・世界の活まりに向かつてお導きいただけるよう、よふぼくのつとめを実行させていただく所存でございます。

その中にも今日の吉き日は、これの繁藤大教会に御許しいただいております、月々の御祭日でございますので、只今からおとめ奉仕者一同心を一つに合わせ、陽気に座りつとめてをどりをとめて、主教百八十五年四月の月次祭を執り行わせていただきます。御前には、今日を樂しみに寄り集ったよふぼく、信者達が、鳴物の調べに合わせておうたを唱和し、日頃賜る厚き御恵みに礼申し上げ、尚一層の成人を並うう状を御覧くださいます。御親神様にもお勇みいただきますようお願い申し上げます。

残り一ヶ月と迫った主百三十周年記念祭七代会長就任奉告祭に向けて、一手一心に心を結び、この旬を輝かせることができるよう、精一杯御用にとめさせていただきます。ていごんがいます。

何卒、この心定めをお受け取りいただき、世界一列兄弟、神人和樂の陽気づくめの世の状へとお導きくださいますよう、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

《繁藤大教会立教百八十五年 四月月次祭祭典役割》

祭主	指図	扠者	扠者	扠者	扠者	賛者	男		女		地方	笛	チャンポン	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓	神殿講話																																		
							座りづとめ	大教会長	前会	田村辰久												大教会長夫人	前会長夫人	黒石伸子	坂本久徳	佐藤栄治	為田基紀	宮田孝道	川田節夫	藤田憲明	村上英士	為田紀久男	田村久徳	空閑さとの	藤田洋美	佐藤順子	富松禎幹先生																		
大教会長	坂本久徳	宮田孝道	田村久徳	立花真一郎	田村省悟	座りづとめ	大教会長	前会	田村辰久	大教会長夫人	前会長夫人	黒石伸子	坂本久徳	佐藤栄治	為田基紀	宮田孝道	川田節夫	藤田憲明	村上英士	為田紀久男	田村久徳	空閑さとの	藤田洋美	佐藤順子	富松禎幹先生	八足出し	秋月真一郎	立花真一郎	佐々木恵	佐藤成彦	前田豊	田村省悟	てをどり前半	てをどり後半	宇山基紀	空閑一教	村由高	立花孝一	田村睦美	宮田睦美	空閑	佐藤明子	佐藤成彦	黒河明大	藤田誠	宮田教一	伊藤正福	藤田善典	土居道久	空閑慶吾	立花真一郎	秋月孝子	武市まち子	為田賢子	

# 創立百三十周年記念祭・七代会長就任奉告祭

## 令和四年五月二十二日執行

### 【神殿講話】

(五月) 神殿講話はございません

### 【修養科生並びにおさづけの理拝戴者講話】

(五月) 村上英士

### 【教会长神殿当番】

(五月) 城 攝・来 見・高 阪  
(六月) 武富士・繁 金・方 城

### 【詰所教養掛】

(五月) 未 定  
(六月) 空 閑 一 将

### 【詰所事務掛】

(五月) 高 橋 道 則  
(六月) 三 井 基 志

### 【ひのきしん】

○婦人会詰所ひのきしん  
五月二十五日～二十六日 (未 定)

○本部食堂ひのきしん

七月一日～十五日

紋 膽 分 教 会



改装された  
神殿横のトイレ

### 【登 用】

四月月次祭において、左記の方々が登用されました。

#### 《婦 人》

田村睦美 (垣生) 為田賢子 (直属)

#### 《准婦人》

高山範子 (繁山) 黒石美佐 (高杉) 田村育与 (實彌原)  
村上綾 (佐岡) 空閑真理代 (西田川) 宮田みなみ (本山)

### 【婦人会・少年会・青年会各会費納入のお願い】

令和四年度の各会費の納入を、左記の通りお願い致します。

記

・ 婦人会 一名称 六〇〇〇円

・ 少年会 一名称 六〇〇〇円

・ 青年会 一名称 六〇〇〇円

納入については、各会責任者もしくは会計担当者にお納め頂き、必ず領収証を受け取って下さい。やむを得ず詰所事務所にお預けになる場合は、詰所にて預かり証しか出せませんのでご留意下さい。

### 【記念祭について】

いよいよ記念祭を迎える月となりました。まだまだコロナ禍も治まらない状況ではありますが、皆様方には十分体調にご注意頂き、左記の点ご周知頂いてご帰参下さるようお願い申し上げます。

記

#### ・ 参拝場所

密を防ぐ為に神殿内の参拝は、**教会长・教会长**

**配偶者・在籍者のみとします。**

**※教会长は必ずおつとめ着、配偶者はハッピーを着用**

## ・食事

その他の参拝の皆様には、神殿前のテント席、信者会館一階会議室、三階大広間、食堂、集会場より参拝して頂きます。(三階大広間、食堂、集会場には映像を流します)

記念祭終了後にお弁当配布のご案内を致します。

喫食場所は、前に記した参拝場所及び神殿(時間制限あり)、信者会館の各部屋となりますが、密を避ける為に高知県内など近隣の方にはできるだけお待ち帰り下さるようお願い致します。

## ・その他

建物内は禁煙といたします。喫煙される方は必ず指定の喫煙場所をお願いいたします。

※ 各教会においては、繁藤に繋がる皆様の心が記念祭に向かうようお声がけの程、よろしくお願い致します。

## 【よふぼく・信者情報の確認リスト提出のお願い】

先般、各教会へ配布致しました確認リストは、「よふぼく・信者情報の現状確認についてお願い」をご参照の上、転籍・転住・改姓などの変更箇所を訂正(赤ペン)いただき、至急大教会までご提出下さいますようお願い致します。

## 【本部月次祭昇殿参拝について】

本部月次祭には、現在、各大教会に割り当てられた人数のみ昇殿参拝をさせて頂く事ができます。今月まで繁藤としての割り当ては各月二十名です。部内教会ごとに割り当てはいたしませんので、昇殿参拝を希望される方は大教会坂本久徳(携帯080-3920-1817)までご連絡下さい。尚、先着二十名とさせて頂きませんが、二十名を超える場合は、今までの状況を考慮して調整させて頂きます。

## 【婦人会】

○「天理教婦人会第四百四回総会」

四月十九日・本部中庭で開催されました婦人会総会には、各支部の代表者十六名が参加されました。

○「みちのだいおはなし会」

左記の日時で「みちのだいおはなし会」が開催されます。

日時 五月二十六日(木) 午後一時～二時

場所 東講堂

講師 平澤 栄 美(常磐平支部長)

西村 康 世(一筋支部会員)

## 【初席者】

生 安 山 内 彩優里 添 田 田 中 大 輔

## 【をびや】 一件

## 【富松幹禎先生の神殿講話動画】

四月の大教会月次祭における、本部員・櫻井大教会前大教会長の富松幹禎先生の神殿講話です。以下のQRコードより視聴できます。なお、繁藤につながる信者以外へ共有等は控えて下さい。

## 【繁藤大教会公式LINE】

神殿講話などの発信をしています。記念祭のライブ配信をご視聴の方は事前に登録をお願いします。



# 立教百八十五年活動方針

創立百三十周年記念祭・七代会長就任奉告祭に向けて

## 《信仰の元一日に立ち返ろう》

### 活動方針

(三年間を通じ)

『人々のたすかりを願い、  
陽気ぐらしの輪を広げよう』

### 実働項目

- おつとめ
  - ・朝夕に神様に手をあわせよう
- にをいがけ・おたすけ
  - ・悩める人に耳を傾け、寄り添う
- 陽気ぐらしの実践
  - ・親孝行、夫婦仲良く、陽気ぐらし

### 三年千日活動

- ・本部月次祭に参拝し、おぢばの理を戴こう
- ・毎月二十六日朝、本部回廊拭きひのきしんの実施
- ・ブロック活動
  - にをいがけ、ひのきしん、バザー、物々交換、お楽しみ行事を通じて、友だちを誘い参加してもらおう